



【編集】  
富山国際大学  
現代社会学部

富山国際大学

東黒牧ニュース

Toyama University of International Studies

## アサギマダラを見かけました

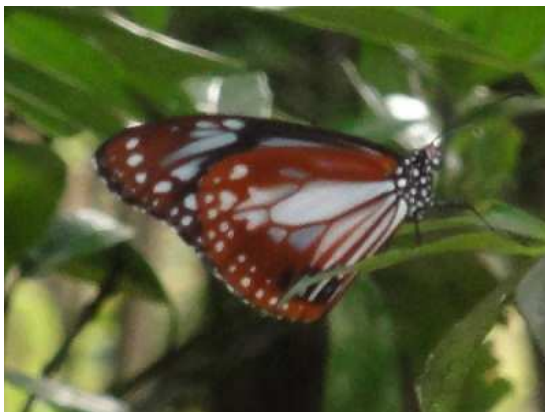
キャンパスの雑木林では、今、リョウブの花盛りです。これだけとまって咲く木の花は、約1か月振り、チョウ、ハチ、アリ、コガネムシなど、色々な昆虫が、忙しく走り回っています。もっとも数年前に比べて、集まる昆虫が減っているような気がするのですが、気候変動の影響でしょうか。

先週末にアサギマダラを見かけました。翅の表側が浅葱色、前後翅それぞれ黒、茶褐色のフレームとなっている美しい蝶で、アゲハチョウよりはやや小さめですが、優雅に飛び回っていました。残念ながら、翅を広げた様子は撮影することができず、やや閉じた様子しかお見せすることができません。

アサギマダラは、時には2,000kmにも及ぶ旅をする日本で唯一の渡り蝶で話題になっています。その生態は、まだ詳しくは分かっていないようですが、富山では、標高の高い地域で夏を過ごすようです。渡りの経路等を調べるため、有峰などで、捕獲し、マークして、放す活動が行われています。

東黒牧では若干標高が低く、生息地ではないように思われますが、渡りの経路なのでしょうか。あるいは、迷い蝶なのでしょうか。

ただ、これまで、2度見かけており、最初の写真(左側)では、後翅裏側の下端に雄の性標とされる黒い模様があり、後日の写真(右側)では、これが見えません。あるいは、東黒牧に何頭かいるということかもしれません。



(文・写真：浜松誠二)